

ティーンズだより みどりの翼



◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで！

Read me !

「特集★ウまいハナシ」

気になる、この本！

特集+α(ぶらすあるふぁ)

お知らせ

Vol. 24



特集 ウまいハナシ

発行：田原市図書館

発行日：平成20年10月11日

〒441-3421 田原市田原町汐見5番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

特集+α(ぶらすあるふぁ)

特集「ウまいハナシ」いかがでしたか？読書の秋、食欲の秋、今のシーズンにぴったりのテーマ本が集まりました。それでは今回も、図書館にあるCDやDVDなど、ぶらすあるふぁで紹介します！

☆「ウまいハナシ」なCD&DVD

『のこいのこ大全』 307/ノ

TVのCMソングで一度は耳にしたことがある曲がたくさん詰まった一枚。♪エ〇ラ焼肉のたれ！ってこの人の声かぁ〜。(驚)

『スーパーサイズ・ミー』C42/ス(渥美)

ジャンクフードを毎日三食食べ続けたら、人間のカラダはどうなってしまうのか？監督自ら実験台になった体を張ったドキュメント。

興味のある人は、予約をしてネ！



ウまいよ、ウまいよ

～ お知らせ

◎読書週間 10/27～11/9◎

知っていましたか？読書週間の活動は昭和22年から続いています。歴史的にも長〜いイベントだったんですね。

第62回の今年の標語は、

「おもわぬ出会いがありました」です。どんな出会いも突然ですが、本との出会いも、突然で偶然で必然で・・・なんともしばしな出会いです。秋深まる季節、じっくり本と向き合ってみませんか？

そして10月27日は
『文字・活字文化の日』
と制定されました。



◎読書かんそう画コンクール◎

図書館毎年恒例となりました読書かんそう画コンクール。今年も開催します！小学生の参加が多いのですが、絵を描くことが大好きな中学生のみなさんも是非参加してください。

展示期間・・・10/23～11/27

展示場所・・・児童室のガラス面



☆新刊・この本読んで！☆

7月から9月にかけて入った新刊からおすすめの本を選びました。

あなたのお気に入りはいみつかるかな？

「透明人間のくつ下」アレックス・シアラー//著 金原瑞人//訳 竹書房 933/シア ティーンズ

それは、チャルトン・ロード小学校の遠足から始まった……。歴史の町マンストンで大聖堂と城を見て、古代ローマの遺跡をめぐり、自由時間に立ち寄った『リトル・ホラー博物館』名前だけでもワクワクするその博物館で、絶対にさわってはいけない！というミセス・アバクロンビーの忠告を無視して展示品をさわってしまったからさぁ大変。徐々に変身し始めるドラキュラ、フランケン、狼男にミイラ、ビッグフットに雪男。どこかカワイイ憎めないリトルモンスターは元の姿に戻るのか？大事な教訓を身にしみて体験してしまう、コミカルで皮肉たっぷりの物語。



「ラン」森絵都//著 理論社 913.6/モリ ティーンズ

両親と弟、叔母を相次いで亡くしひとりきりになってしまった環。ケンカしたまま家族と別れてしまったことを今でも後悔しているせいで近所でもバイト先でも周りに溶け込めないでいた。そんなある日唯一親しくしていた自転車屋の紺野さんからもらった自転車を走らせているうちに「ライン越え」をし、死後の世界に迷い込んでしまう。家族にふたたび会うためには40キロの道のりを走らなければならないと知った環はイーサーランナーズというチームに入り練習を始める。死んだ家族に会うという変わった理由ながらも走り続けるうちに前向きになっていく環や個性的なチームメートたちから勇気がもらえる一冊です。



「エマ・ジーン・ラザルス、木から落ちる」ローレン・ターシス//作

部谷真奈実//訳 主婦の友社 933/タ ティーンズ

ミドルスクール7年生のエマ・ジーンは、亡くなった父親譲りの聡明さをもっていたが、学校では変わり者として浮いた存在だった。彼女自身も、同級生たちを理解できず、ある程度距離をとるくせができていた。

しかしある日、トイレで泣くコリーに助けを求められ、問題を解決してあげようと思い立つ。ある行動を起こし、他にも次々と学校で問題を解決！……。でも、人生それほど甘くはなく、コリーをさらなる窮地に立たせてしまう。失敗しながらも、みんなに大人に見守られながら、自分自身や他人を受け入れようと、一歩踏み出すまでのお話。



図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★ウマイハナシ

芸術の秋、スポーツの秋いろいろあるけれど秋といえばやっぱり「食欲の秋」！栗やキノコなどおなじみの秋の味覚をはじめ、あま〜いスイーツもたくさんあってどれから食べようか迷ってしまいますね。

今回はそんな秋にぴったりのオナカも頭も満腹になっちゃう「ウマイハナシ」を集めてみました。



「料理の仕事がしたい」

辻芳樹//編 岩波書店 2006年 596/リ ティーンズ



タイトルの文字通り、料理の仕事がしたい人はもちろん、進路を考えている人にオススメする一冊をご紹介します。

シェフ、ソムリエ、パティシエなど、料理の様々な分野で活躍する16人が、その仕事を志したきっかけや、どんな修行をしてきたか、また、仕事に対する考え方など、自分がたどってきた道を語ってくれます。けっこうすごい人たちがばかりなので、ちょっと圧倒されてしまうかもしれませんが、夢を実現するために今までもこれからも大変な努力を重ねている人たちの言葉は、なかなか重みのあるもので、いろんな大切なことを気づかせてくれそうです。

「厨房ガール！」

井上尚登//著 角川書店 2007年 913.6/イノ 一般



親の反対を振り切り警察を辞め、世界的にも有名なフレンチの料理学校SWATに通い始めた理恵。緊張すると得意の合気道で近くの人を投げ飛ばしちゃう(?!)失敗はあるものの、口の悪い正木やフランス語が苦手な楓、天然ボケな美江子とともにシェフを目指し、厳しい勉強の毎日。そんな理恵たちのもと舞い込んで来る料理にまつわる事件—コンソメがにごってしまう謎、なぜか居心地の悪いレストランの謎—をおもしろおかしく解決します。もちろんサンゴ礁の海のように透き通ったコンソメや鯛とサケのあつあつチーズコロッケ、さくさくの天ぷらなどおいしいような料理もいろいろ出てくるのでご安心を。

「カレーになりたい!」

水野仁輔 // 著 理論社 (よりみちパンセ) 2008 年 596/ミ ティーンズ



東京カリ〜番長、水野さんのカレーな人生を紹介。中学の頃からお小遣いでカレー店へ出かけたり、本場の味を求めてインドを旅したり、365日毎日がほぼカレーという、カレーまみれの人生！一口にカレーといっても世界には様々なカレーが存在している。レトルトカレーひとつを見ても全国津々浦々のご当地カレーがあったりして、「なるほど！奥が深い食べ物だ」と感心すること必須です。水野さんは「カレー」だけど、夢中になれる大好きな事を思いっきり楽しむってすばらしい。うまいものは人によって様々。みんなも自分のうまいものをトコトン追及してみませんか？それはさておき、読後は本格派のカレーが食べたくなる一冊です!!

「それからはスーフのことばかり考えて暮らした」

吉田篤弘 // 著 暮らしの手帖社 2006 年 913.6/ヨシ 一般



失業中なのに映画好きで足しげく映画館に通うオーリィ（大里）は、引っ越し先で、大好きな映画を見るのを忘れるほど世にもおいしいサンドイッチに出会う。サンドイッチの店「トロア」は、奇遇にも2度失業したことのある店主アンドウが経営していた。そこへ常連のように通ううち、店で働かないかと誘われる。味噌汁が得意なオーリィは新商品となるスープ作りをまかされ、試行錯誤の毎日に・・・。

サンドイッチにスープなんて、よくある食べ物だけど。物語に登場するこれらはホントにおいしいそう。こんなお店があったら買いに行きたい！と思うはず。

「きらめくジャンクフード」

野中柊 // 著 文藝春秋 2006 年 596.04/ノ 一般



問：ジャンクフード（JUNK FOOD）とはどんな食べ物？

答：高カロリーなのに、ビタミンやミネラルといった栄養素に乏しい食品。ハンバーガーやポテトチップなんかが代表選手。

ほんとに油断ならないほどカロリー高い。でも、おいしいよねー。いかにモノから、これもそうなの？と思うようなモノまで幅広い48品がラインナップ。著者がアメリカで暮らした体験もまじえたエピソードも面白い。素朴だったり、どろどろに甘そうだったり、病みつきになりそうな魔力を秘めたジャンクフードたち。

ダイエットしている人には大敵かもしれないエッセイ集です。

「おいしいハンバーガーのこわい話」エリック・シュローサー、チャールズ・ウィルソン // 著

宇丹貴代美 // 訳 草思社 2007 年 673.93/シ 一般



ハンバーガー、ポテトにコーラ・・・ファーストフードってむしろに食べたくなくなる時ってありますよね。学校帰りちょっとお腹が空いたときなどみなさんにもおなじみなんじゃないでしょうか。しかしそんな私たちの身近にあるファーストフードにはCMに出てこないこわーいホントの話があるんです。アメリカの田舎で生まれたハンバーガーがどうやって世界中に広まったのか。フライドポテトやいちごのいらないストロベリーシェイクの秘密などちょっとびっくりするような話がつまっています。おいしい話には裏がある？ただ食べるだけでなく食べ物についてじっくり考えてみませんか。

「赤毛のアン」

L. M. モンゴメリー // 著 掛川恭子 // 訳 講談社 1990 年 933/モ ティーンズ



女の子は読んだことのある人も多いかな？赤毛でやせっぽち、おしゃべりで空想が大好きな少女アンが、孤児院から美しい村に引き取られ、失敗を大いに経験しながら、大好きな人たちに囲まれて楽しくのびのびと成長する不朽の名作です。

毎度アンが起こすどたばたも面白くて、ある意味「ウまいハナシ」だけど、ときどきお茶会の場面で登場する、おいしそうで温かみのある手作り料理の数々には、うらやましくて、真似してお茶会をしてみたいくなりますよ。ただし、間違っ^{ひろし}てケーキに水薬を入れないようにご注意ください。お茶会をするなら「赤毛のアン」の手作り絵本1〜3もオススメです。

「キャベツ」

石井睦美 // 著 講談社 2007 年 913.6/イシ ティーンズ



家族のために中学2年から台所に立つ^{ひろし}洋。父が死んで、母が働きにでるようになってから、夕ごはんを作ると決めた。「自分で決めたことだから」と大学生になった今でもその生活は変わらない。趣味は読書と料理と妄想。料理を作るときも自分は子育て中の主婦だ。と妄想しながら楽しんでいる。そんなある日、何かと口うるさい高校生の妹、美砂が友だちをつれて家に帰ってきた。古風で控えめな、かわいいかこちゃんも気になる存在になって……。仲睦まじい兄妹の少し切ないストーリー。どこがウマイ話かって？洋の得意料理、キャベツのウマタレ、回鍋肉、ロールキャベツなどなどキャベツ料理が登場するのです！

「マジカル・ドロップス」

風野潮//著 光文社 2007年 913.6/カゼ ティーンズ



42歳の平凡な主婦樋口菜穂子は、ある日親友の美智に、同窓会で開けられたタイムカプセルの中身を渡された。それは、15歳の時に交通事故で亡くなったもう一人の親友、真由美の入れたドロップの缶。一粒かじると2時間17分間だけ15歳の少女にもどるマジカル・ドロップ。菜穂子は「長谷川ナオ」になって亡き親友の夢を叶えようと、高校生の息子がやっているバンドのボーカルとしてライブをしたり、バンドのメンバー谷崎くんと淡い恋が芽生えたり・・・十代の女の子として再び青春時代を体験する。しかし、ある日時間がたっても体がもどらなくなり・・・。

「からくりからくさ」

梨木香歩//著 新潮社 1999年 913.6/ナ 一般



亡くなった祖母がのこした家で暮らし始めた^{ようこ}蓉子。一緒に暮らすのは染色をする蓉子と同じように布に関わる^{きく}紀久・^{よきこ}与希子・マーガレットの三人と蓉子が祖母からもらったりかさんという古い市松人形。里帰りした紀久が実家でりかさんそっくりな人形を見たことをきっかけに人形にまつわる彼女たちの不思議な縁がわかり始めて・・・人の繋がりが感じられる不思議な話です。ストーリーとは直接関係ないんですが4人が家がない網戸の費用を作るためにタンポポやつゆ草など庭に生えている雑草を料理にして食べる箇所がすごくおいしそうで印象的です。

「気になる、この本」！

「この本読んで！」

「山古志村のマリと三匹の子犬」桑原真二・大野一興//著 645.6/ク 成瀬陽介さん

この本は、本当にあった話です。マリは、世の中に起きるいろいろなことはたった二種類しかないこと（ひとつは「どうにもならないこと」、もうひとつは「どうにかなること」）について教えてくれます。

掲示板前においてある「気になる、この本！」「投稿しよっ！」用紙を知っていますか？「友だちに紹介したい！」とか「図書館にあったら、読んでみたいなあ～」というみんなの声を募集しています。投稿、お待ちしております！！

📖他にもこんな本あります📖

○「ニューヨークからのおいしい手紙」

高林麻里//著 ポプラ社 2001年 596/タ ティーンズ

○「おいしい、おいしいダイエット」

大沼奈保子//著 フジモトマサル//絵 晶文社 1998年 596/オ ティーンズ

○「空想キッチン」

ケンタロウ、柳田理科雄//著 メディアファクトリー 2008年 596.04/オ 一般

○「絵本からうまれたおいしいレシピ 絵本とお菓子の幸せな関係」

宝島社 2005年 596/エ ティーンズ

○「まだある。おやつ編」

初見健一//著 大空出版 2007年 588.39/ハ 一般

○「バカ盛り伝説 関西・東海版」

あきれたグルメ探検隊//著 2008年 673.97/ア 一般

○「しゃべれどもしゃべれども」

佐藤多佳子//著 新潮社 2000年 913.6/サ 一般

○「うさぎパン」

瀧羽麻子//著 メディアファクトリー 2007年 913.6/タキ ティーンズ



★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。
カウンターなどで気軽に声をかけてね！

* 次回のテーマは「天使&悪魔」です。お楽しみに！

